

Ⅱ 岡山県のがん統計

1 集計対象

岡山県に住所を有する者（外国人を含む）で、2019（平成31）年1月1日から2019（令和元）年12月31日までの間に、がんと診断された者及び市区町村長から報告される死亡者情報票によって把握されたがんによる死亡者

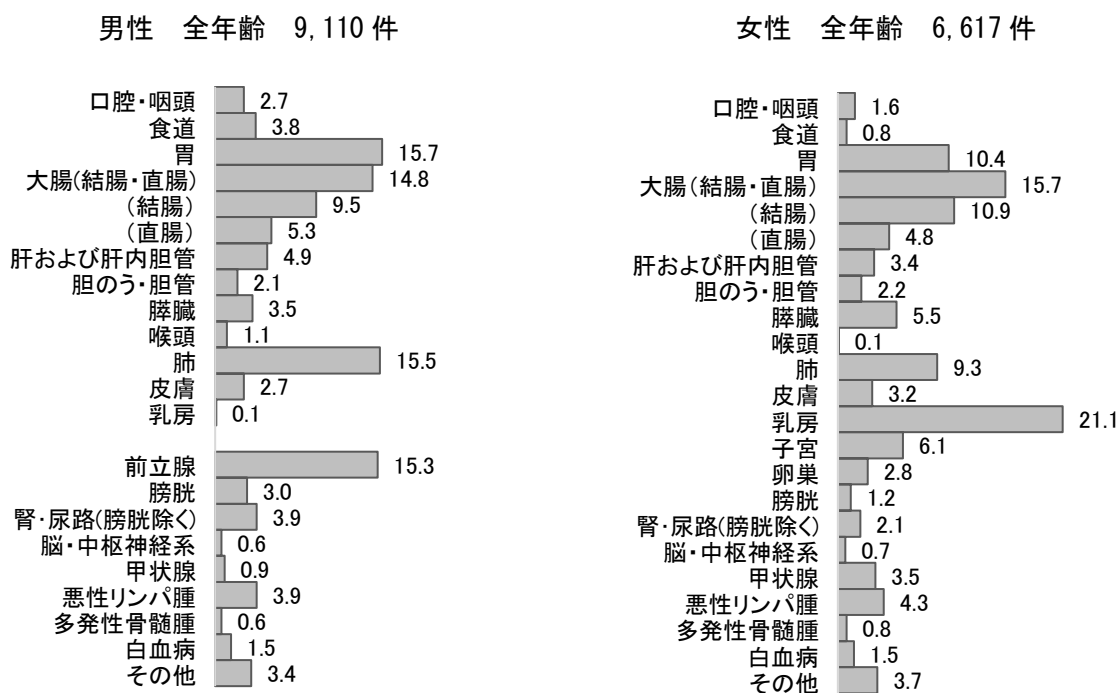
2 罹患の状況

（1）罹患の概要

岡山県内に居住する者について、新たに診断されたがん（上皮内がんを除く）は、男性9,110件、女性6,617件、合計15,727件であった。

部位別では、男性は胃（1,434件、15.7%（全部位に占める割合、以下同じ））が最も多く、次いで肺（1,409件、15.5%）、前立腺（1,393件、15.3%）の順となっている。また、女性は乳房（1,394件、21.1%）が最も多く、次いで大腸（1,041件、15.7%）、胃（688件、10.4%）の順となっている。【図4】

図4 部位内訳（%）（表1-Aから作成）



注) 上皮内がんを除く

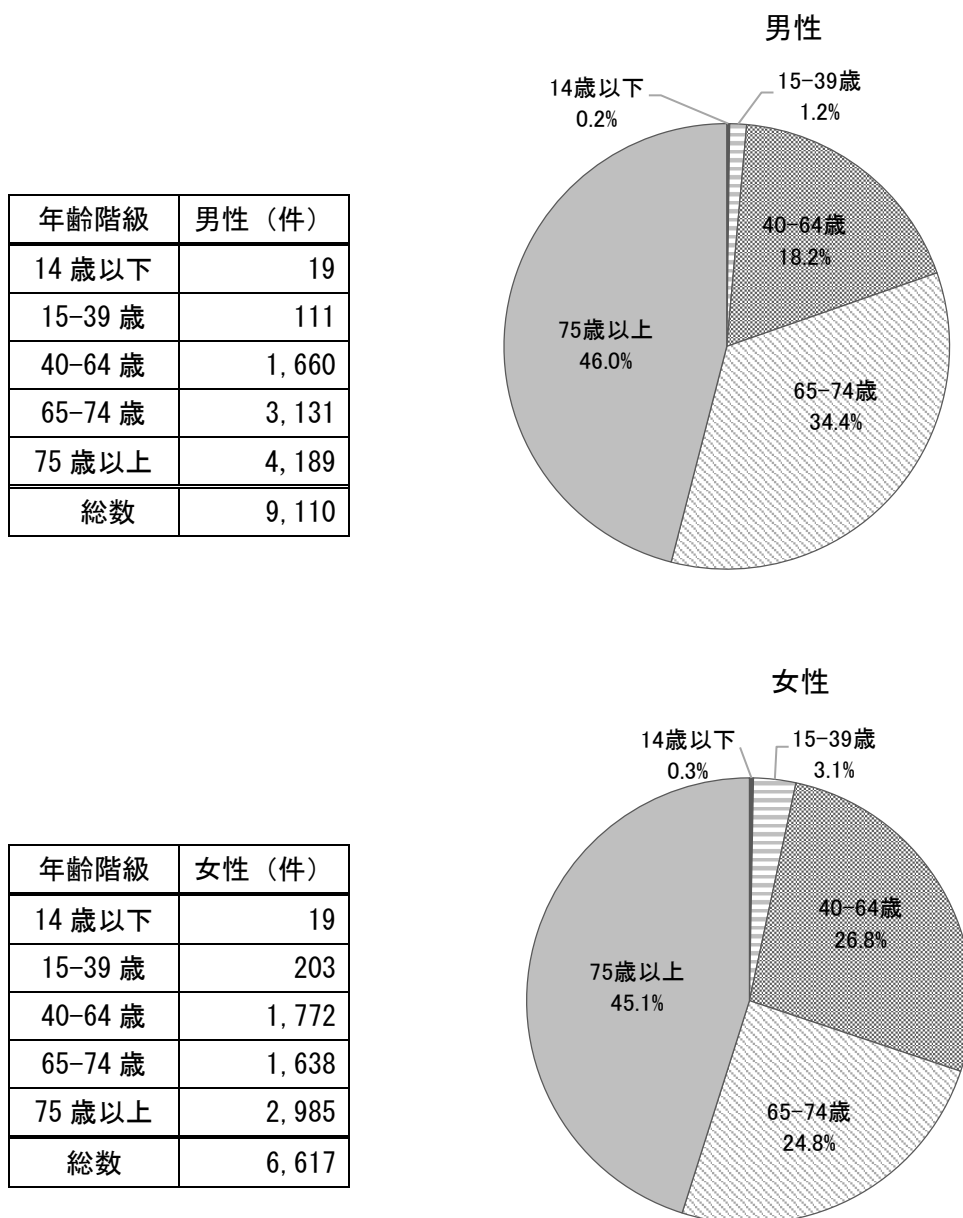
(2) 年齢別に見たがんの罹患

新たに診断されたがん(上皮内がんを除く)について年齢階級別内訳をみると、男性では全体の約 80.4%、女性では全体の約 69.9%が 65 歳以上である。

また、総数で見ると男性の方が多いが、15～39 歳及び 40～64 歳は女性の方が多

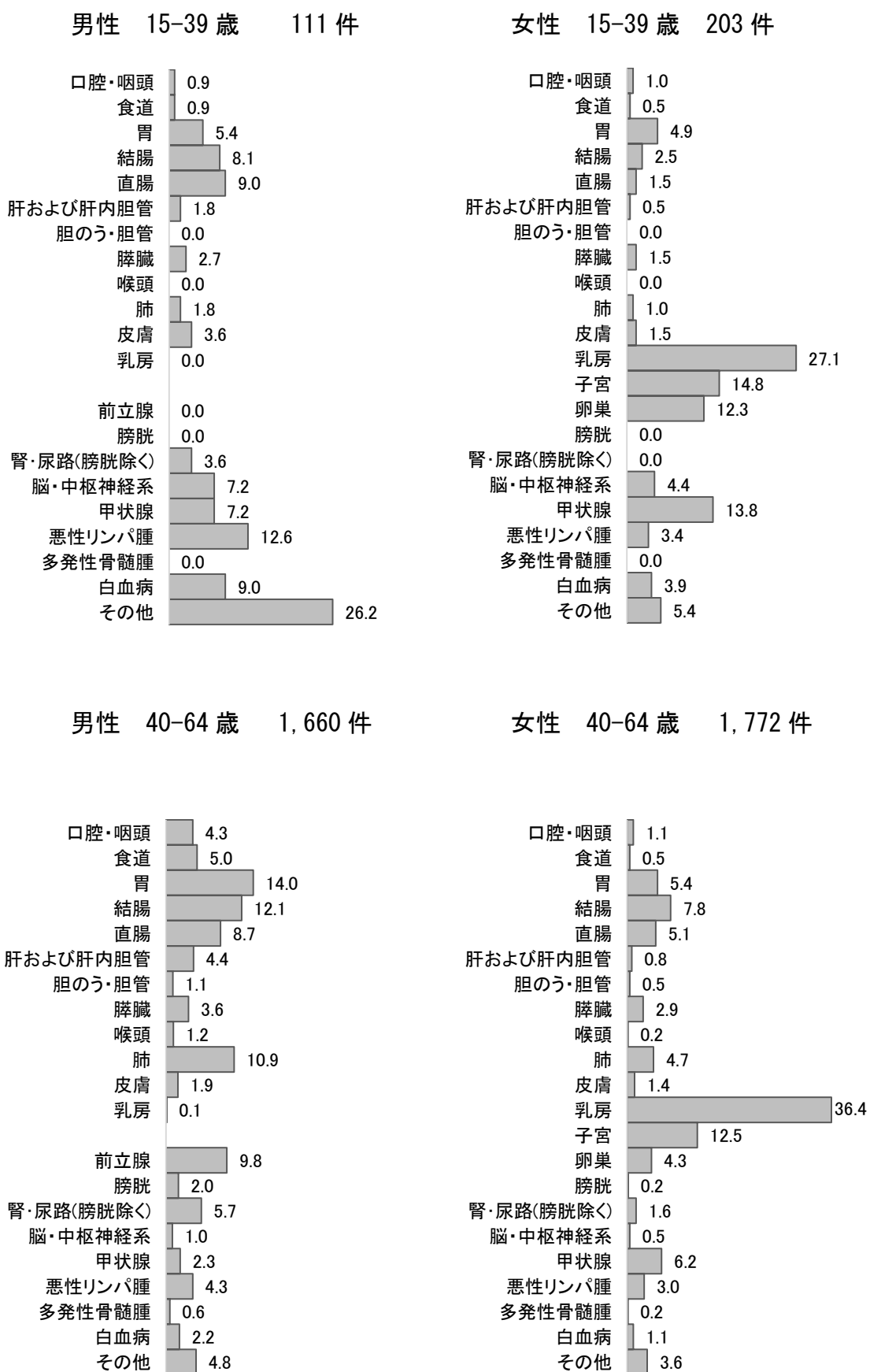
い。
これは、この年齢層で女性の乳房及び子宮ならびに甲状腺に発生するがんが多いためである。【図 5・6】

図 5 年齢階級別内訳 (%) (表 2-A から作成)

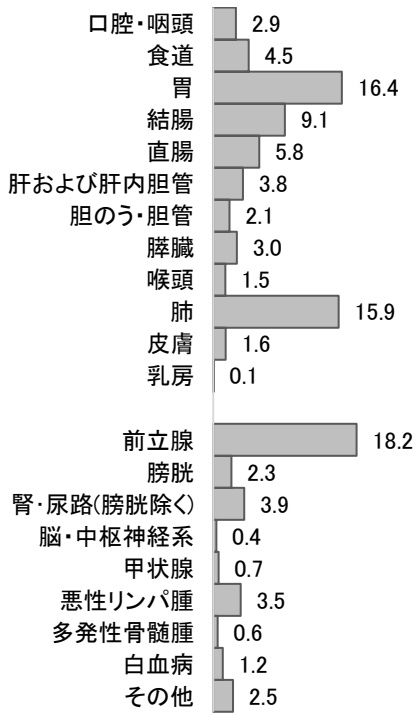


注) 上皮内がんを除く

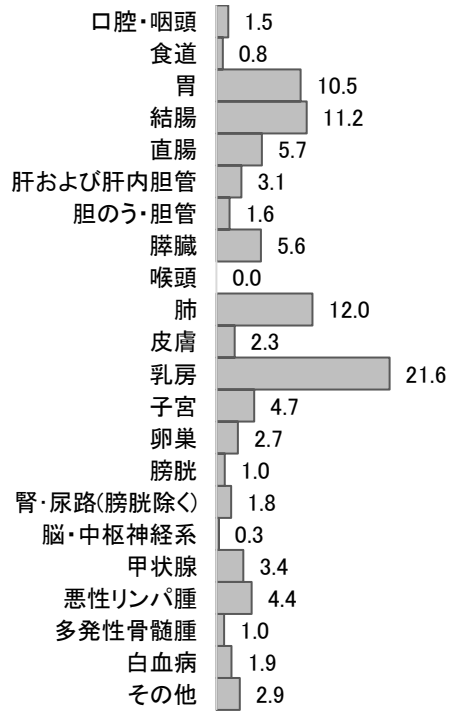
図6 年齢階級別部位内訳 (%) (表2-A から作成)



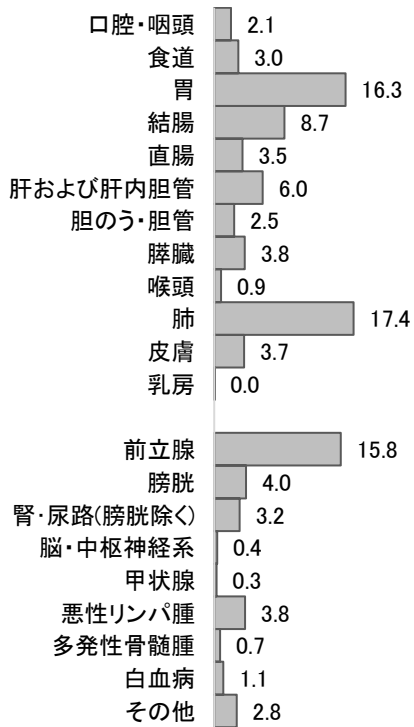
男性 65-74 歳 3,131 件



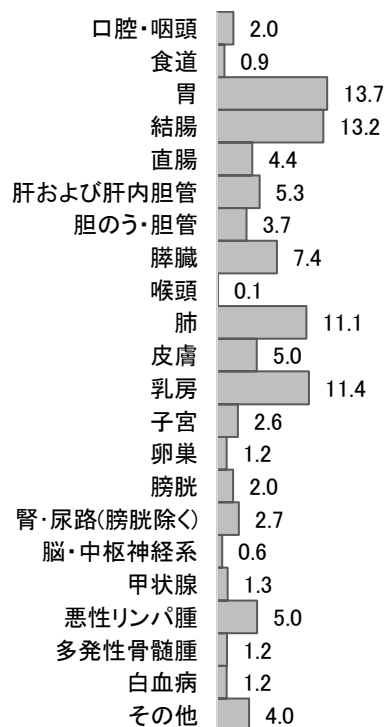
女性 65-74 歳 1,638 件



男性 75 歳以上 4,189 件



女性 75 歳以上 2,985 件

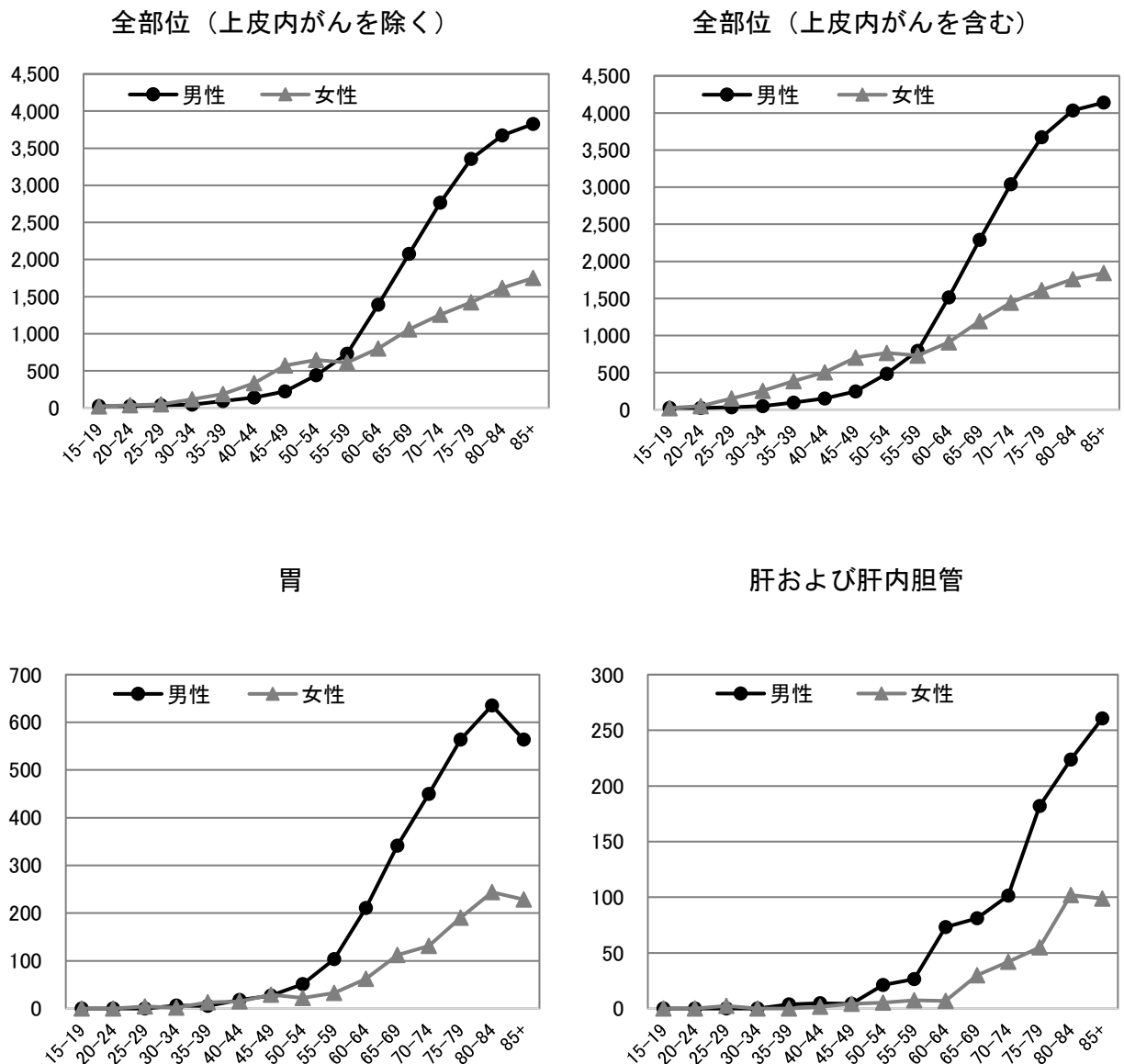


注) 上皮内がんを除く

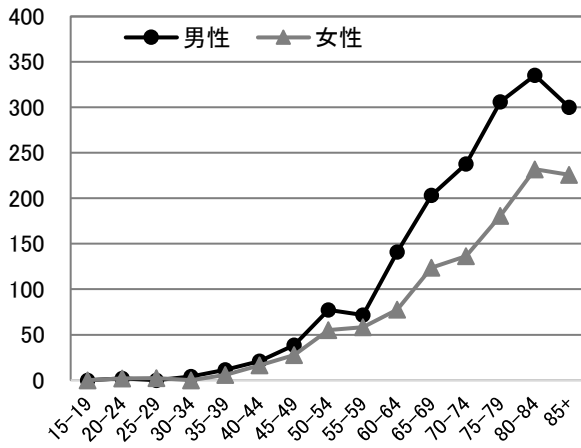
部位別年齢階級別罹患率を見ると、ほとんどの部位において、年齢が高くなるほど罹患率が高くなっているが、女性の乳房及び子宮は、若い世代の罹患率が高い。

また、子宮頸部の上皮内がんについて 20 代後半から 40 代後半までの罹患率が高くなっている。【図 7】

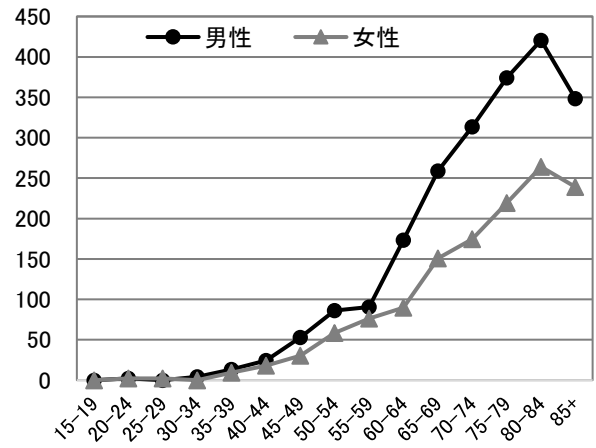
図 7 部位別年齢階級別罹患率：人口 10 万対（表 3-2. A, B から作成）



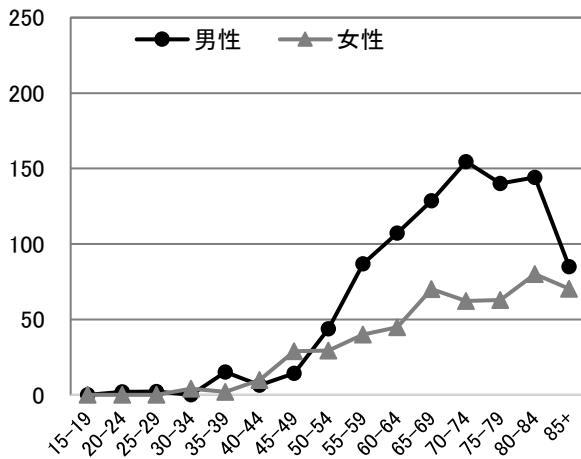
結腸（上皮内がんを除く）



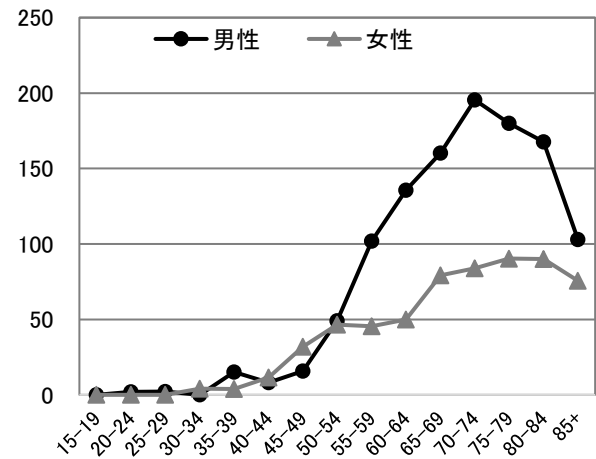
結腸（上皮内がんを含む）



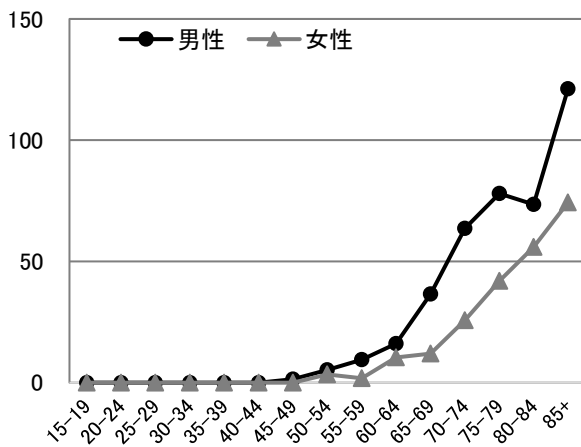
直腸（上皮内がんを除く）



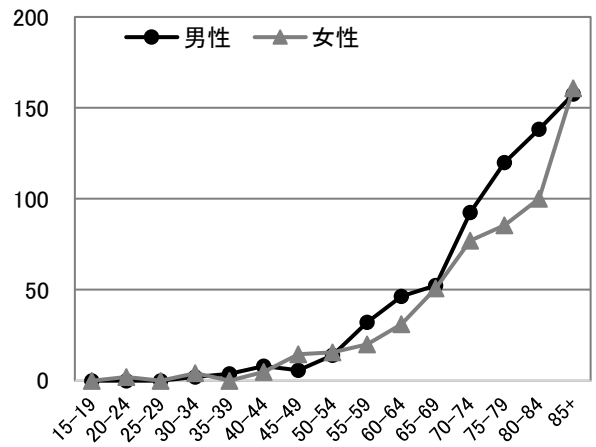
直腸（上皮内がんを含む）



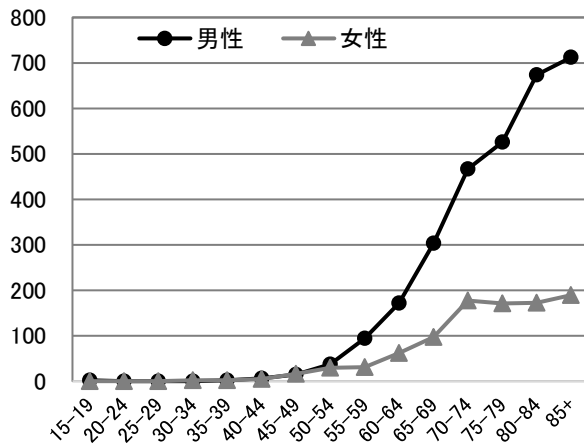
胆のう・胆管



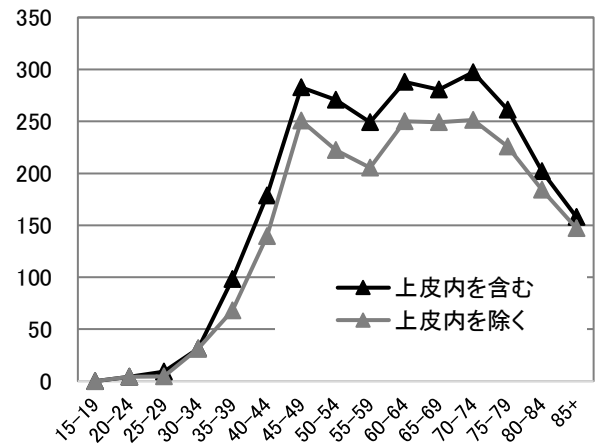
膵臓



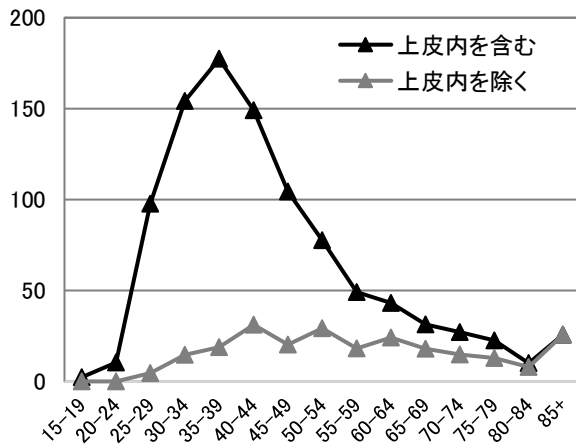
肺（上皮内がんを除く）



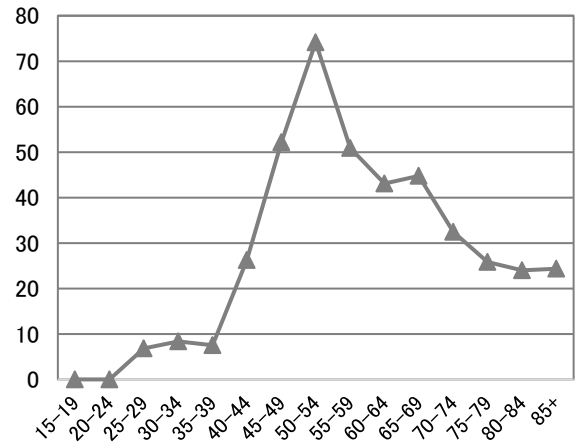
乳房（女性のみ）



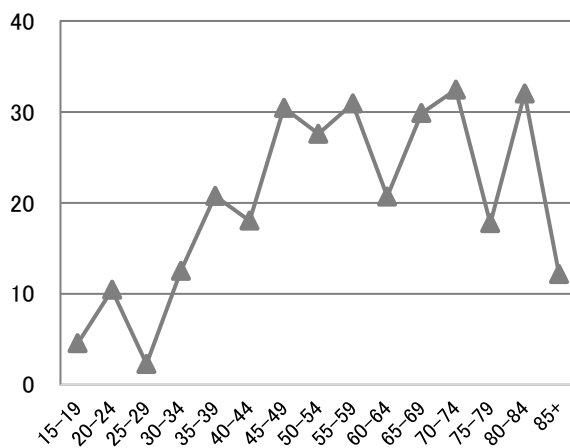
子宮頸部



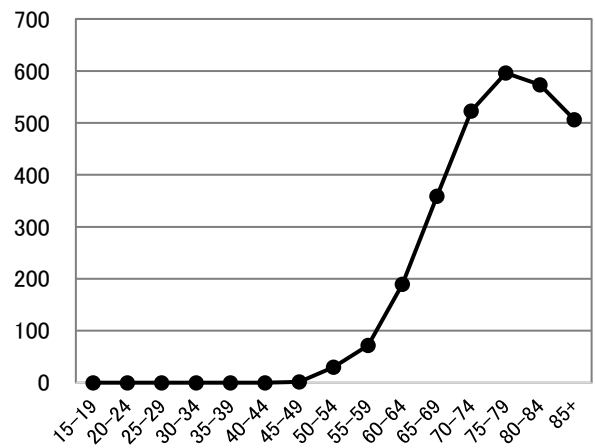
子宮体部



卵巣



前立腺

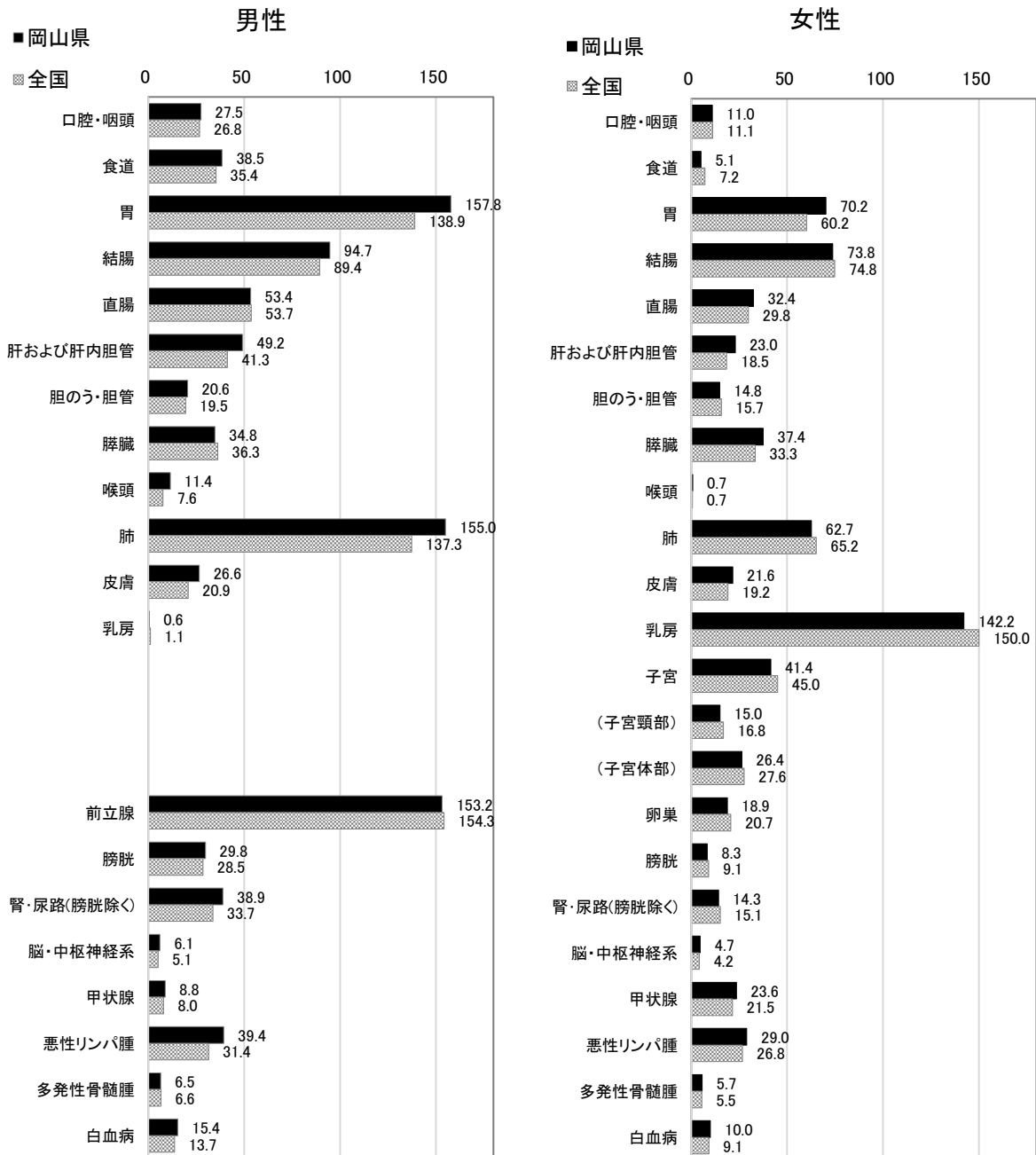


(3) 岡山県のがんの罹患の特徴

部位別の粗罹患率と年齢調整罹患率について、厚生労働省健康局がん・疾病対策課「全国がん登録 罹患数・率報告」において公表されている全国値との比較を示した。

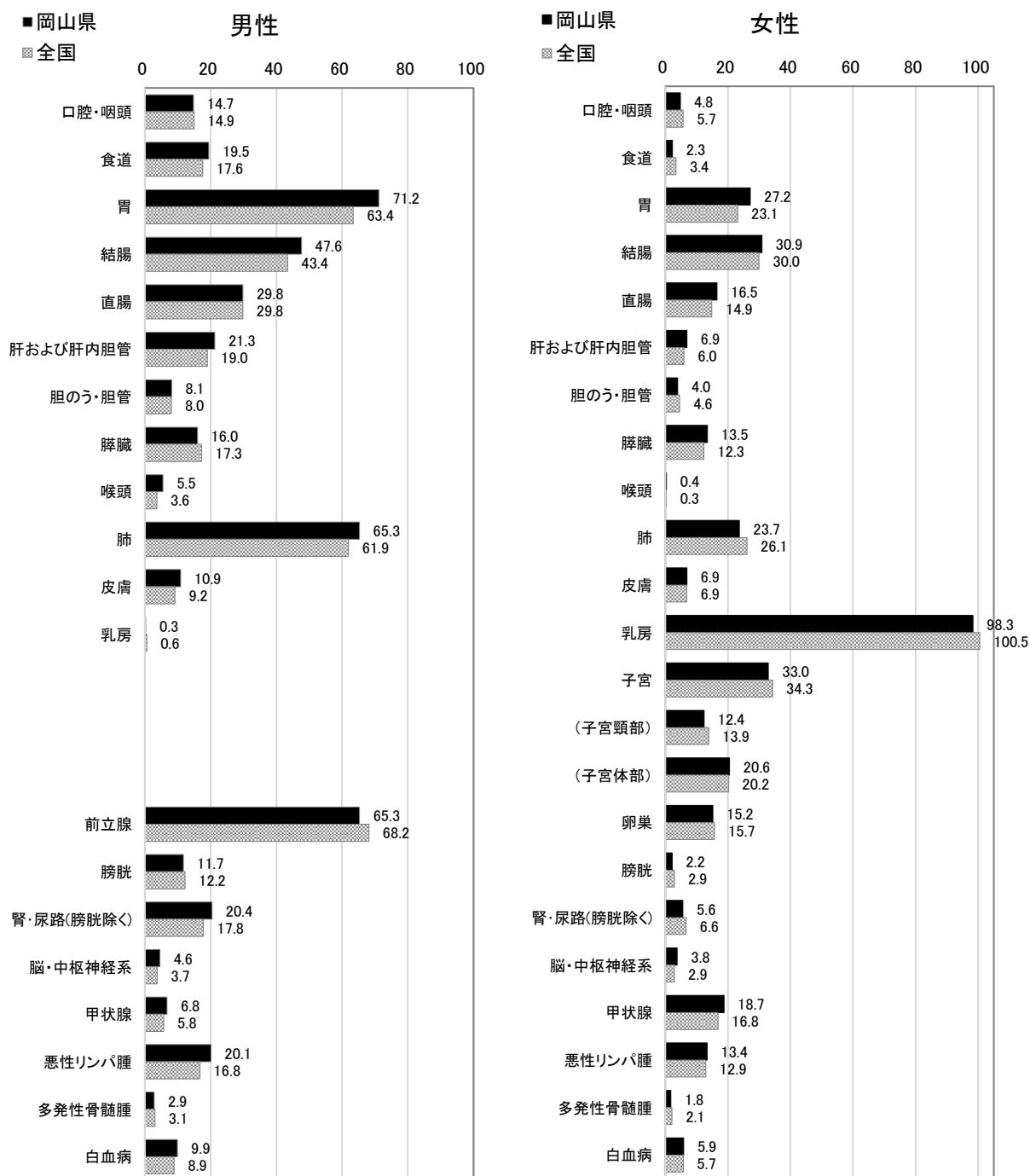
年齢調整罹患率で見ると、胃、肝および管内胆管などは岡山県の方が高く、前立腺や女性の乳房などは岡山県の方が低い。【図8・9】

図8 部位別粗罹患率：人口10万対（表1-Aから作成）



注) 上皮内がんを除く

図9 部位別年齢調整罹患率：人口10万対（表1-Aから作成）



注) 上皮内がんを除く

(4) 主要部位別罹患状況の年次推移

罹患数及び年齢調整罹患率の推移を、男女別に示した。【図10～13】

年齢調整罹患率で見ると、男性の大腸が増加傾向にあり、女性では、依然として乳房の罹患率が高く増加傾向にある。

図10 罹患数の年次推移：主要部位別、男性

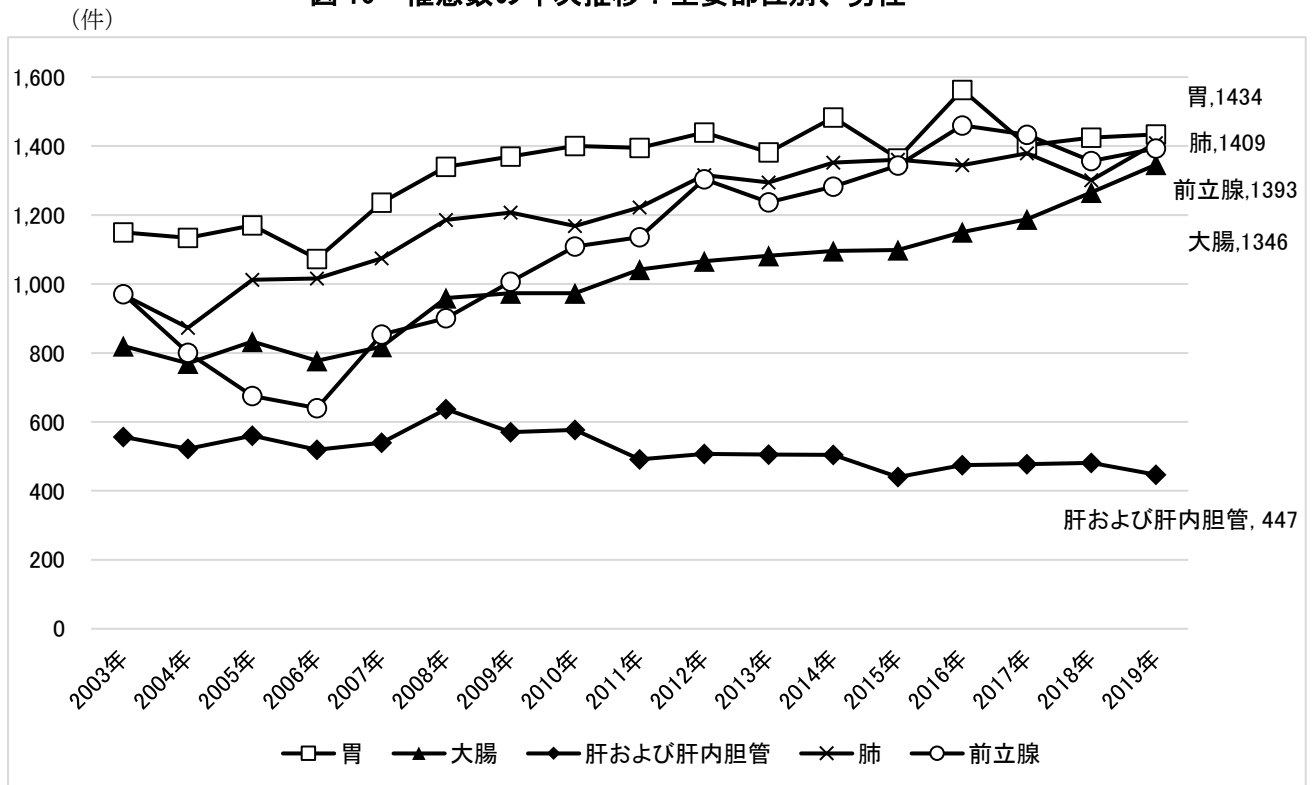


図11 年齢調整罹患率の年次推移：主要部位別、男性

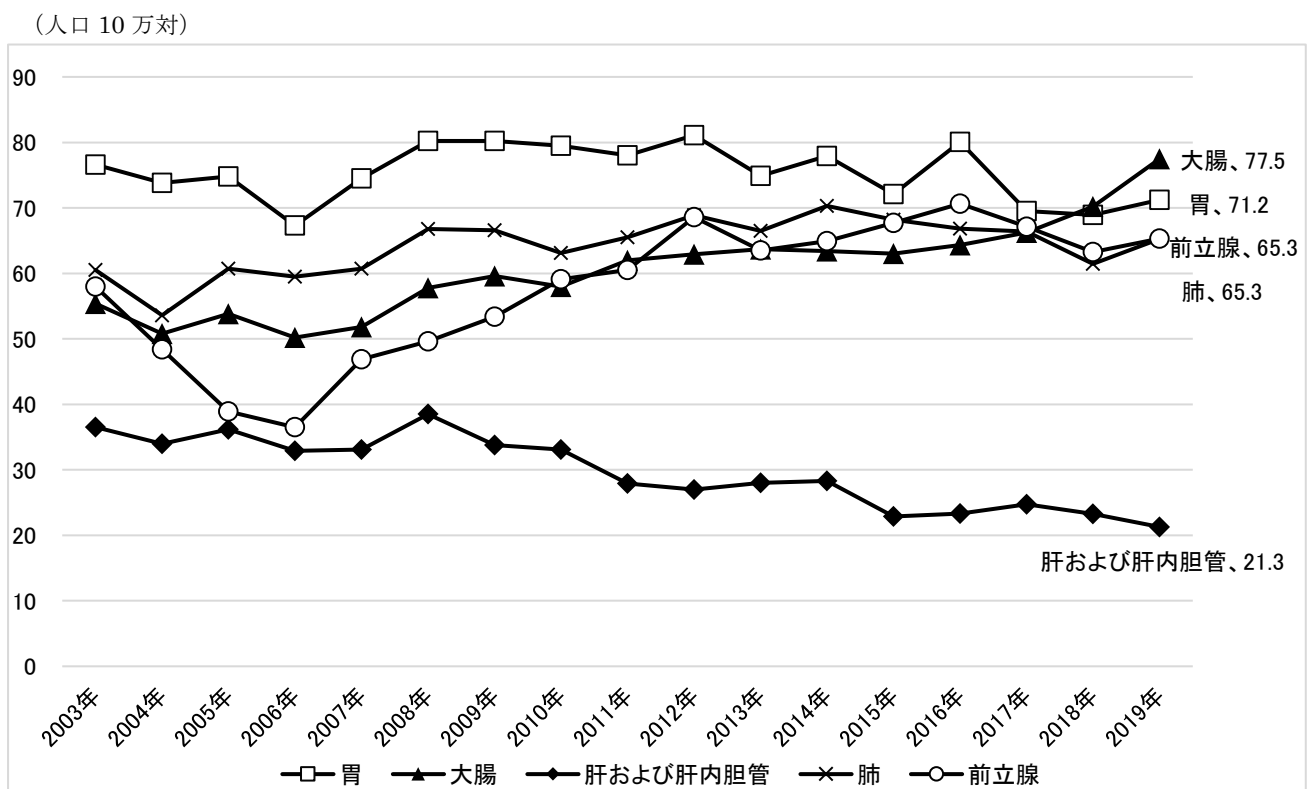


図 12 罹患数の年次推移：主要部位別、女性

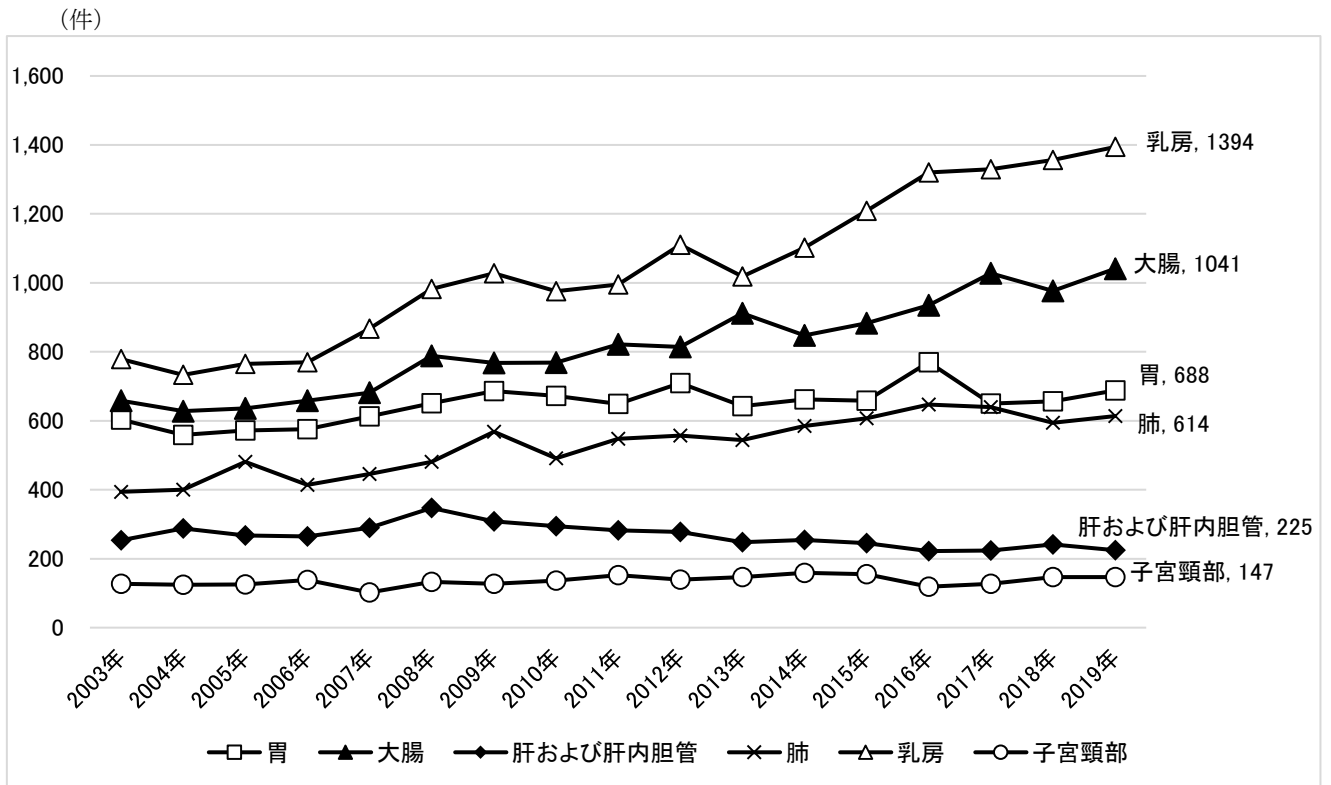
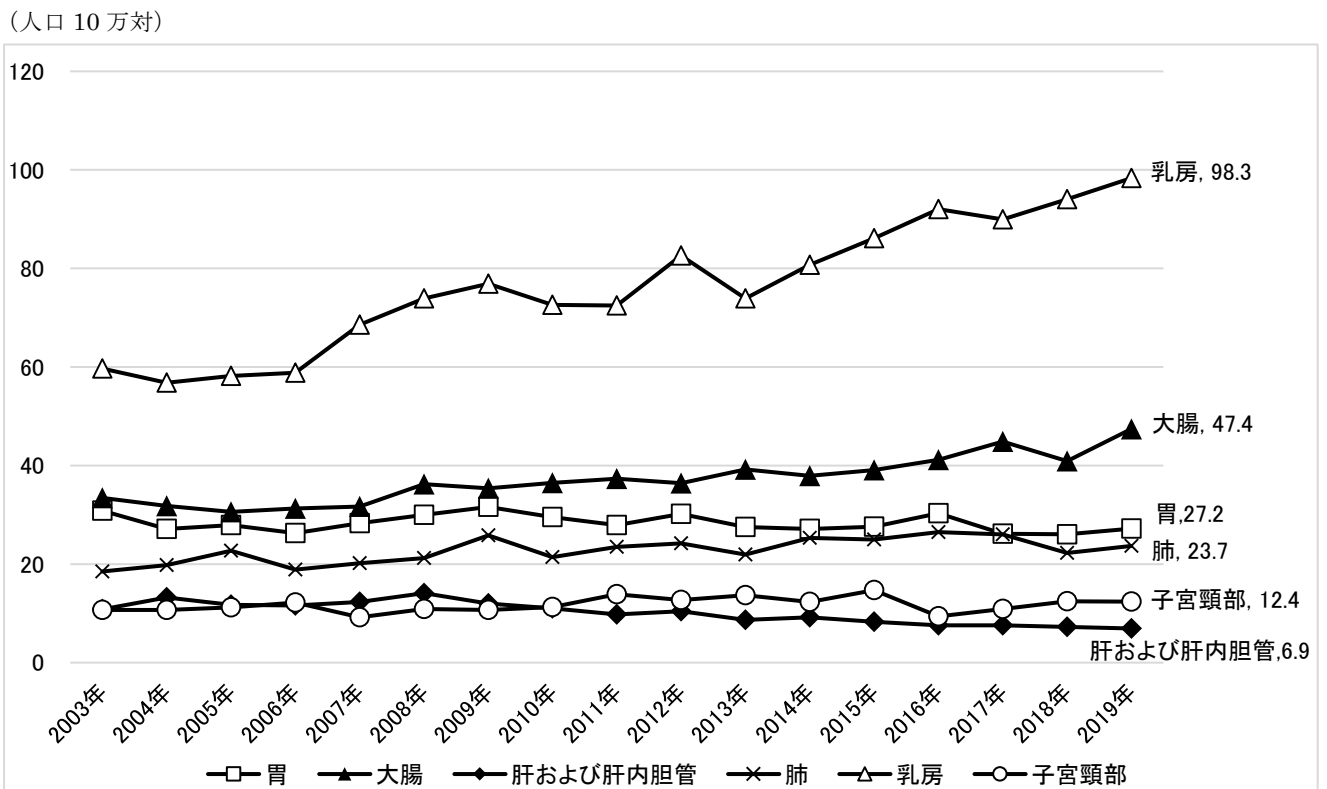


図 13 年齢調整罹患率の年次推移：主要部位別、女性



2003-2014 年は、国立がん研究センター「全国がん罹患モニタリング集計 (MCIJ)」による岡山県集計。
 2003, 2004 年は、乳房及び子宮のみ上皮内がんを含む。2005 年以降は、すべての部位において上皮内がんを除く。